大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成29年8月分【埋立中調査①】)

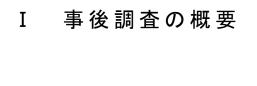
【廃棄物処分場周辺 水質】

【廃棄物搬入施設周辺 大気質・交通量・悪臭】

国土交通省 近畿地方整備局 大 阪 市 港 湾 局 大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

Ι	事後調査の概要	
	1. 調査概要	I - 1
	2. 工事の実施状況	I - 12
	3. 調査結果の概要	I - 13
П	事後調査結果	
	1. 水質 (廃棄物処分場周辺) ······	I I - 1
	2. 大気質 (廃棄物搬入施設周辺) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	II- 7
	3. 交通量(廃棄物搬入施設周辺)	I I− 16
	4. 悪臭 (廃棄物搬入施設周辺) ·······	II - 22



1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 29 年 8 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1(1)事後調査の概要(廃棄物処分場の埋立てに係る調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂)	1点(南港中央公園局)	8月1日~31日	通年連続
窒素酸化物(NO₂、NO)			
浮遊粒子状物質(SPM)			
風向・風速			

表-1(2) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目	5点×2層	8月1日	1回/月
水素イオン濃度(pH)	[1, 2, 3, 4, 5]		
化学的酸素要求量(COD)	上層:海面下1m		
溶存酸素量(DO)	下層:海底面上2m		
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
●その他の項目			
透明度			
水温			
塩分			
濁度			
浮遊物質量(SS)			
クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (放流水、内水及び護岸外周 (1))

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
濁度	放流水 1点	8月1日~31日	連続測定
水温			
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
浮遊物質量(SS)	放流水 1点	8月1日、9日、16日、	1回/週
不揮発性浮遊物質量(FSS)	内 水 1点	22日、29日	
水素イオン濃度(pH)	(処理原水)	8月16日	1回/月
化学的酸素要求量(COD)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)		8月16日	4回/年
n-ヘキサン抽出物質			(5月、8月、11月、2月)
大腸菌群数			
透明度	護岸外周 3点×2層	8月1日	4回/年
水温	(護岸から30m)		(5月、8月、11月、2月)
塩分	[19, 20, 21]		
浮遊物質量(SS)	上層:海面下1m		
不揮発性浮遊物質量(FSS)	下層: 海底面上2m		
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
n-ヘキサン抽出物質	n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査		
大腸菌群数	大腸菌群数は上層のみ調査		

表一1(4) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (放流水、内水及び護岸外周 (2))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等	放流水 1点	放流水、内水	放流水、内水
カドミウム	内 水 1点	8月16日	4回/年
全シアン	(処理原水)	0,,100	(5月、8月、11月、2月)
- ⁻	護岸外周 3点×2層		(0)1(0)1(1)1(2)1)
六価クロム	(護岸から30m)	護岸外周	護岸外周
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	[19, 20, 21]	8月1日	4回/年
総水銀	上層:海面下1m		(5月、8月、11月、2月)
アルキル水銀	下層:海底面上2m		(-,,,-,,,-,,,
PCB			
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1.1.1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			
フェノール類			
銅			
亜鉛			
溶解性鉄			
溶解性マンガン			
全クロム			
陰イオン界面活性剤			
有機燐			
ほう素			
ふっ素			
アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物)			
1,4-ジオキサン			
塩化ビニルモノマー	塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン		
1,2-ジクロロエチレン	は護岸外周のみ調査		
ダイオキシン類	ダイオキシン類は上層のみ調査	放流水	放流水 4回/年
		8月16日	(5月、8月、11月、2月)
		内水	内 水 2回/年
		8月16日	(8月、2月)
		護岸外周	護岸外周 1回/年
		8月1日	(8月)

表-1(5) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (処分場周辺))

	概要(廃業物処分場の埋立に		
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度	6点(護岸から500m)×2層	8月1日	4回/年
水温	【13, 14, 15, 16, 17, 18】		(5月、8月、11月、2月)
塩分	上層:海面下1m		
濁度	下層:海底面上2m		
浮遊物質量(SS)			
不揮発性浮遊物質量(FSS)			
水素イオン濃度(pH)			
化学的酸素要求量(COD)			
溶存酸素量(DO)			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
クロロフィルa			
n-ヘキサン抽出物質	n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査		
大腸菌群数	大腸菌群数は上層のみ調査		
カドミウム		8月1日	2回/年
全シアン			(8月、2月)
鉛			
六価クロム			
砒素			
総水銀			
アルキル水銀			
PCB			
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			
フェノール類			
銅			
— — — — — — — — — — — — — — — — — — —			
溶解性鉄			
溶解性マンガン			
全クロム			
ニューー 陰イオン界面活性剤			
有機燐			
1,4-ジオキサン			
1,7 ノクコソン	<u> </u>		l

表-1(6) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質 (一般項目))

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成	4点(表層土)	8月1日	2回/年
含水率	[2, 3, 4, 5]		(8月、2月)
強熱減量			
化学的酸素要求量(COD)			
硫化物			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
酸化還元電位			

表-1(7) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質 (処分場周辺))

調査項目	な安(廃棄物処が場の埋立に 調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
嗣直視日 ●一般項目	1点(表層土)	8月1日	2回/年
→ 版項日 粒度組成	【15】	0,1,1	(8月、2月)
含水率	101		(07,27)
ロッキー			
化学的酸素要求量(COD)			
硫化物			
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
酸化還元電位			
●有害項目<含有量試験>			
アルキル水銀			
総水銀			
カドミウム			
鉛			
有機燐			
六価クロム			
シアン			
PCB			
銅			
亜鉛			
ふっ化物			
トリクロロエチレン			
テトラクロロエチレン			
ベリリウム			
クロム			
ニッケル			
バナジウム			
有機塩素化合物			
ジクロロメタン			
四塩化炭素			
1,2-ジクロロエタン			
1,1-ジクロロエチレン			
シス-1,2-ジクロロエチレン			
1,1,1-トリクロロエタン			
1,1,2-トリクロロエタン			
1,3-ジクロロプロペン			
チウラム			
シマジン			
チオベンカルブ			
ベンゼン			
セレン			

表-1(8) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 騒音・低周波空気振動)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年
低周波空気振動音圧レベル		_	(4月、10月)

表-1(9) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 悪臭)

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度	1点(大阪南港野鳥園)	8月21日	2回/年
臭気指数			(8月、9月)
特定悪臭物質濃度			

表-1(10) 事後調査の概要(廃棄物処分場の埋立に係る調査 陸域生態系(鳥類))

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点	8月22日、23日	4回/年(2年おきに実施)
	[a, b, c, d]		(5月、6月、8月、2月)

表-1(11) 事後調査の概要(廃棄物搬入施設に係る調査 大気質、騒音、振動、交通量、悪臭)

	調査項目	調査範囲・地	点調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂)	搬入ルート沿道		1週間×4回/年
	窒素酸化物(NO2、NO)	大阪基地 : 2点	8月1日~7日	(5月、8月、11月、2月)
	浮遊粒子状物質(SPM)	[No.2、3]		
	風向・風速	堺基地 : 2点	8月17日~23日	
		[No.1、2]		
		泉大津基地 : 2点	8月25日~31日	
		[No.A、B]		
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 : 2点		(操業時間帯に実施)
		[No.2、3]		(5月、11月)
		堺基地 : 2点	_	
		[No.1、2]		
		泉大津基地 :2点		
		[No.A、B]		
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道		2回/年
		大阪基地 : 2点		(操業時間帯に実施)
		[No.2、3]		(5月、11月)
		堺基地 : 2点	_	
		[No.1, 2]		
		泉大津基地 : 2点		
		[No.A、B]		
交通量	廃棄物輸送車 	搬入ルート沿道		4回/年
	一般車	大阪基地 :3点	8月2日	(操業時間帯に実施)
		[No.1, 2, 4]		(5月、8月、11月、2月)
		堺基地 :4点	8月17日	
		[No.1, 2, 3, 4]	0.000	
		泉大津基地 :3点	8月25日	
一	自与改在	【No.A、B、C】		0日 7年
悪臭	臭気強度	敷地境界		2回/年
	臭気指数	大阪基地 : 2点(風.	上、風下) 8月9日	(6月、8月)
		【No.5、6】 堺基地 : 2点(風	L ET) 08100	
			上、風下) 8月10日	
		【No.5、6】 自士津甘州 . 2 与/国	ト 周天〉 0月10日	
		泉大津基地 : 2点(風	上、風下) 8月10日	
		[No.D1, D2]		

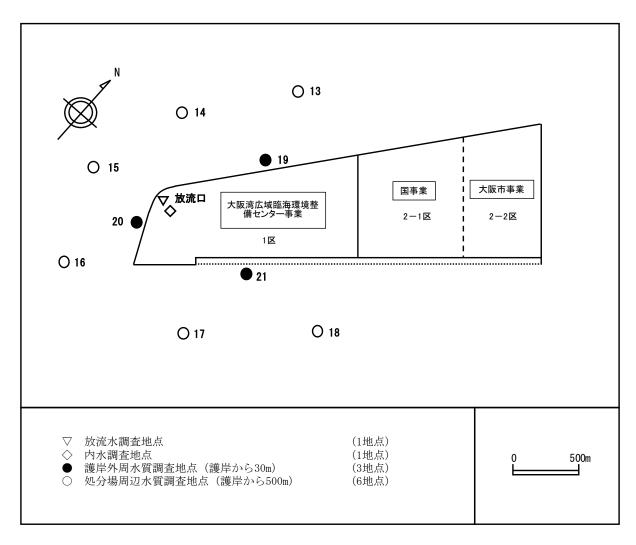


図-1(1) 廃棄物処分場周辺における水質の調査地点(平成29年8月)

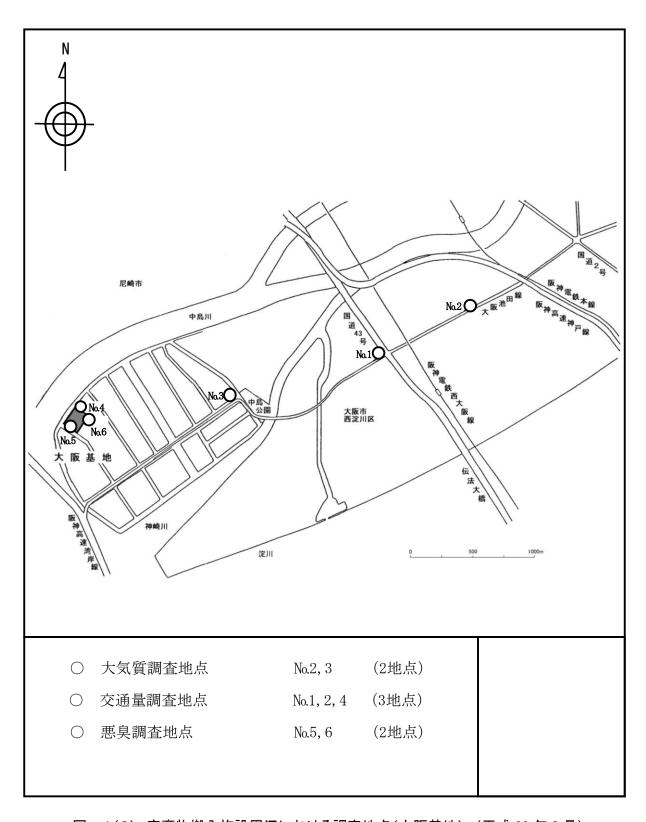


図-1(2) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(大阪基地) (平成 29 年 8 月)

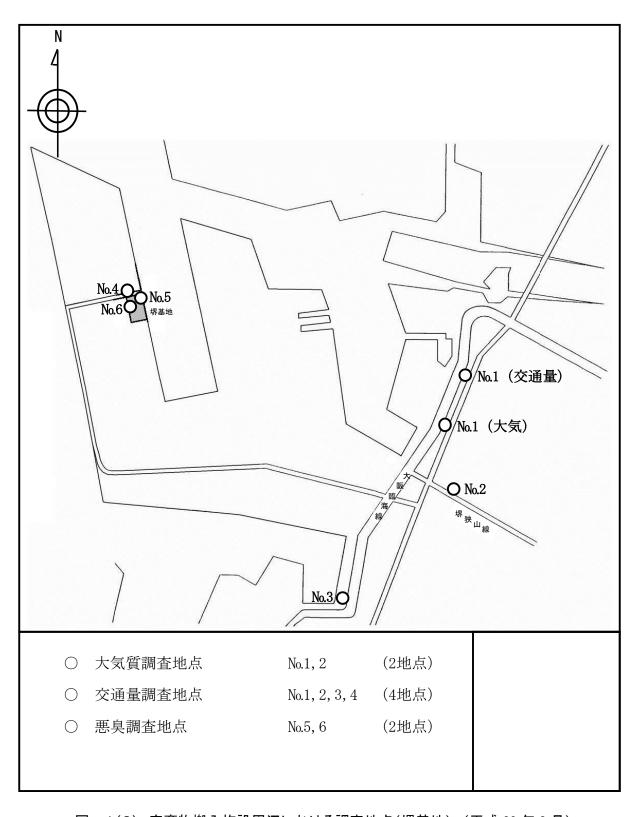


図-1(3) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(堺基地) (平成 29 年 8 月)

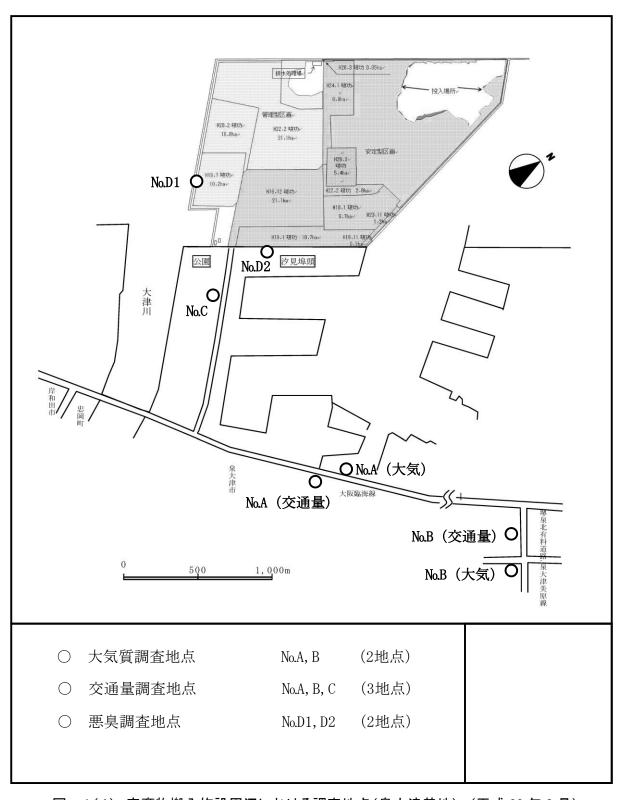
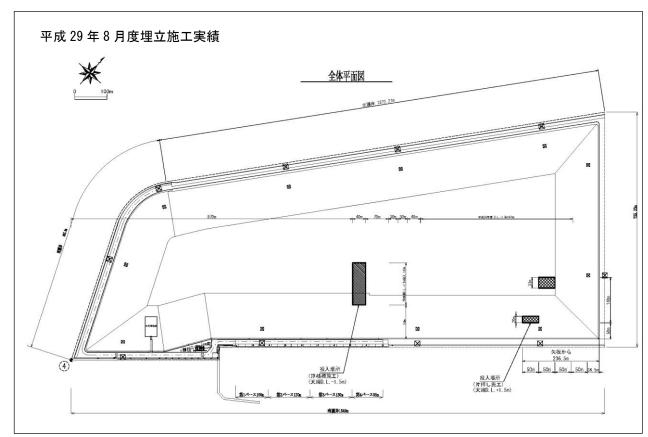


図-1(4) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(泉大津基地) (平成 29年8月)

2. 工事の実施状況

平成29年8月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)	
4,244,690	30.4	

埋立容量(計画量): 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成29年8月)

3. 調査結果の概要

廃棄物処分場の埋立に係る調査

(1) 大気質

平成29年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】に記載

(2) 水質

1)一般項目

平成29年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】に記載

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第6~10、12号]

1) 放流水(連続測定)

濁度は、0.7~1.6 度(カオリン) (平均値 1.0 度(カオリン)) の範囲であった。

水温は、30.7~34.5℃(平均値 31.8℃)の範囲であった。

pH は、6.9~7.0 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上9.0 以下)の範囲内であった。

COD は、 $20.2\sim28.6$ mg/L(平均値 21.8mg/L)の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

DO は、 $4.2\sim5.2$ mg/L(平均値 4.8mg/L)の範囲であった。

2) 放流水、内水

• 放流水

SS は、全測定を通じて報告下限値未満 (<1mg/L) であり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、全測定を通じて報告下限値未満(<1mg/L)であった。

pH は、7.4 であり、放流水の基準値及び管理目標値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内であった。 COD は、23mg/L であり、放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

T-N は、7.1 mg/L であり、放流水の基準値(120 mg/L、日間平均 60 mg/L)及び管理目標値(30 mg/L)を下回っていた。

T-P は、0.06mg/L であり、放流水の基準値(16mg/L、日間平均 8mg/L)及び管理目標値(4mg/L)を下回っていた。

n-ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、放流水の基準値及び管理目標値(鉱油類含有量 5mg/L、動植物油脂類含有量 30mg/L)を下回っていた。

大腸菌群数は、1,200 個/cm³であり、放流水の基準値及び管理目標値(日間平均 3,000 個/cm³以下)を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書(平成29年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

内水

SS は、 $2\sim3$ mg/L(平均値 3mg/L)の範囲であった。

FSS は、報告下限値未満(<1mg/L) $\sim2mg/L$ であった。

pH は 8.1、COD は 28mg/L、T-N は 8.6mg/L、T-P は 0.11mg/L、n-^キサン抽出物質は報告下限値未満(<0.5mg/L)、大腸菌群数は 1,200 個/cm³ であった。

健康項目等については、事後調査報告書(平成29年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

3) 護岸外周

ア) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で $1\sim3$ mg/L、下層で $2\sim7$ mg/L の範囲であった。

イ) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量 (FSS) は上層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim1mg/L$ 、下層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim3mg/L$ の範囲であった。

ウ) **水素イオン濃度** (pH) 【環境基準値:7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4~8.5、下層で 7.8~7.9 の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値の範囲を満たしていなかったが、下層では全ての調査地点において環境 基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 19(8.4)、調査地点 20(8.4)、調査地点 21(8.5) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13\sim18$)の調査結果は、上層で $8.0\sim8.7$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

工) 化学的酸素要求量(COD)【環境基準值:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で $3.2\sim5.9$ mg/L、下層で $3.1\sim3.6$ mg/L の範囲にあり、上層における全ての調査地点、下層における全ての調査地点で環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層における調査地点 19(3.2mg/L)、調査地点 20(4.9mg/L)調査地点 21(5.9mg/L)、下層における調査地点 19(3.1mg/L)、調査地点 20(3.5mg/L)調査地点 21(3.6mg/L)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 13~18)の調査結果は、上層で 2.1~8.1mg/L、下層で 1.5~3.3mg/L であり、調査地点 20、21の下層でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

t) 溶存酸素量(DO)【環境基準值:5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.3~9.6mg/L、下層で 2.2~3.2mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点において環境 基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 19 (3.2mg/L)、調査地点 20 (2.5mg/L)、調査地点 21 (2.2mg/L)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調

査地点 $13\sim18$) の調査結果は、下層で $1.9\sim9.5$ mg/L であり、この範囲にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

カ) **全窒素** (T-N) 【環境基準値: 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で $0.34\sim0.51$ mg/L、下層で $0.40\sim0.50$ mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

‡) 全燐 (T-P) 【環境基準値: 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で $0.056\sim0.062$ mg/L、下層で $0.072\sim0.098$ mg/L の範囲にあり、上層における全ての調査地点、下層における全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 19(0.056mg/L)、調査地点 20(0.062mg/L)、調査地点 21(0.061mg/L)及び下層における調査地点 19(0.072mg/L)、調査地点 20(0.098mg/L)、調査地点 21(0.097mg/L)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13\sim18$)の調査結果は、上層で $0.033\sim0.18$ mg/L、下層で $0.014\sim0.16$ mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、環境基準値を満たしていた。

ケ) 大腸菌群数

大腸菌群数は報告下限値未満(<2MPN/100mL) $\sim 1.7 \times 10^{1}MPN/100mL$ の範囲であった。

1)健康項目等

事後調査報告書(平成29年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

②-2 処分場周辺「水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は上層で $1\sim2$ 度(\hbar オリン)、下層で報告下限値未満(<1 度(\hbar オリン)) ~10 度(\hbar オリン)の範囲であった。

2) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で $1\sim7$ mg/L、下層で報告下限値未満(<1mg/L) ~9 mg/L の範囲であった。

3) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量(FSS)は上層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim2mg/L$ 、下層で報告下限値未満(<1mg/L) $\sim5mg/L$ の範囲であった。

4) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値:7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4~8.6、下層で 7.8~7.9 の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 13(8.4)、調査地点 14(8.5)、調査地点 15(8.4)、調査地点 16(8.5)、調査地点 17(8.6)、調査地点 18(8.6) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13\sim18$)の調査結果は、上層で $8.0\sim8.7$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 化学的酸素要求量(COD) 【環境基準值:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.2~5.0mg/L、下層で 2.4~2.9mg/L の範囲にあり、 上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点にお いて環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層における調査地点 13(3.2 mg/L)、調査地点 14(3.2 mg/L)、15(3.4 mg/L)、16(3.4 mg/L)、17(5.0 mg/L)、18(4.7 mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13 \sim 18$)の調査結果は、上層で $2.1 \sim 8.1 mg/L$ であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) **溶存酸素量** (DO) 【環境基準値: 5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で $7.3\sim10$ mg/L、下層で $1.5\sim3.4$ mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 13(3.4 mg/L)、調査地点 14(3.2 mg/L)、調査地点 15(2.9 mg/L)、調査地点 16(2.0 mg/L)、調査地点 17(1.7 mg/L)、調査地点 18(1.5 mg/L)であった。廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13 \sim 18$)の調査結果は、下層で $1.9 \sim 9.5 mg/L$ であり、調査地点 17、18 の下層でこの範囲を若干下回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

7) 全窒素 (T-N) 【環境基準値: 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で $0.30\sim0.58$ mg/L、下層で $0.34\sim0.61$ mg/L の範囲にあり、上層では 全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 13 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、下層における調査地点 13 (0.61mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13~18) の調査結果は、下層で 0.18~0.79mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

8) **全燐**(T-P)【環境基準値:0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で $0.030\sim0.058$ mg/L、下層で $0.058\sim0.14$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 16、17、18 において環境基準値を上回っており、下層では全ての調査地点におい

て環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 16(0.054mg/L)、調査地点 17(0.058mg/L)、調査地点 18(0.057mg/L)及び下層における調査地点 13(0.058mg/L)、調査地点 14(0.064mg/L)、調査地点 15(0.077mg/L)、調査地点 16(0.14mg/L)、調査地点 17(0.11mg/L)、調査地点 18(0.092mg/L)であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 $13\sim18$)の調査結果は、上層で $0.033\sim0.18$ mg/L、下層で $0.014\sim0.16$ mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

9) 10071ha

 $2 \mu g/L$ 、下層で $1.0 \sim 12 \mu g/L$ 、下層で $1.0 \sim 1.2 \mu g/L$ の範囲であった。

10) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値:検出されないこと】

n-^キサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満(<0.5mg/L)であり、環境基準値を満たしていた。

11) 大腸菌群数

大腸菌群数は報告下限値未満($<2MPN/100mL\sim 2.2\times 10^1MPN/100mL$ の範囲であった。

12) カドミウム等

事後調査報告書(平成29年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(3) 底質

1) 一般項目

事後調査報告書(平成 29 年 8 月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査②】)で報告する。

2) 処分場周辺

事後調査報告書(平成29年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(4) 騒音・低周波空気振動

8月は実施せず。

(5) 悪臭

事後調査報告書(平成29年8月分【埋立中調査②】)で報告する。

(6)陸域生態系(鳥類)

事後調査報告書(平成29年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査②】)で報告する。

廃棄物搬入施設に係る調査

(1) **大気質** [大気質様式第9~16号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は 2.4m/sec であった。

イ) 中島公園近傍の測定点(No.3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は 3.2m/sec であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 1.2m/sec であった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 1.4m/sec であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 1.4m/sec であった。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北西であり、平均風速は 1.3m/sec であった。

(2) 騒音・振動

8月は実施せず。

(3) **交诵量** 「交诵量様式第1~2号]

1) 大阪基地

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 912~1,393 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~6 台で推移し、測定日の

廃棄物輸送車総交通量は 14 台/10hr で、総交通量(12,140 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 1,050~1,332 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~2 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 6 台/10hr で、総交通量(12,438 台/10hr)に占める割合は 0.0% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は $62\sim297$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim22$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 100 台/10hr で、総交通量(1,630 台/10hr)に占める割合は 6.1%であった。

2) 堺基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は $2,191\sim2,820$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim25$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 142 台/10hr で、総交通量(24,772 台/10hr)に占める割合は 0.6%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は $1,224\sim1,602$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim5$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 8 台/10hr で、総交通量(14,150 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.3)

時間交通量は 1,759~2,676 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0~9 台で推移し、測定日の 廃棄物輸送車総交通量は 35 台/10hr で、総交通量(20,993 台/10hr)に占める割合は 0.2% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと 考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点(No.4)

時間交通量は $3\sim71$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $3\sim65$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 324 台/9hrで、総交通量(360 台/9hr)に占める割合は 90.0%であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

時間交通量は $2,133\sim3,054$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim7$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 33 台/10hr で、総交通量(24,567 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと

考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

時間交通量は $816\sim1,215$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim4$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 16 台/10hr で、総交通量(9,034 台/10hr)に占める割合は 0.2% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点(No. C)

時間交通量は $143\sim269$ 台、廃棄物輸送車の時間交通量は $0\sim24$ 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 110 台/10hr で、総交通量(2,138 台/10hr)に占める割合は 5.1%であった。

(4) 悪臭

1) 大阪基地

臭気指数は No.5 (風上)、No.6 (風下) ともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

2) 堺基地

臭気指数は No.5 (風下)、No.6 (風上) ともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

3) 泉大津基地

臭気指数は D1 (風上)、D2 (風下) ともに<10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

《 参 考 》環境基準等(本報告関係分)

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の 1 日平均値が 0.10 mg/m 3 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20 mg/m 3 以下であること。

(2) 水質 (海域)

類型	項目	基準値	
水素イオン濃度 (pH)		7.8 以上 8.3 以下	
D	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下	
В	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上	
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと	
全窒素 (T·N)		0.6mg/L 以下	
Ш	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下	

- 注)1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全 窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。
 - 2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。 公共用水域における環境基準 (BOD 又は COD) の評価方法について (昭和 52 年環水管 52 号)
 - (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目 (nは日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%水質値 $(0.75 \times n$ 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる)とする。

- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と 同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基 準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断 方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準値等

(1) 水質(放流水)

処分場	項目	基準値	管理目標値
	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
管	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L以下
理型	浮遊物質量 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L以下
最	全窒素 (T-N)	120mg/L(日間平均 60mg/L)以下	30mg/L 以下
終処	全燐 (T-P)	16mg/L(日間平均 8mg/L)以下	4mg/L 以下
分場	ノルマルヘキサン抽出物質 含有量(n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量:30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 別表第一より抜粋
 - 2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 悪臭

項目	基 準 値
	敷地境界線における規制基準:10 規制地域:大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

- 注) 1. 悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準;大阪市(平成18年1月告示)
 - 2. 悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準; 堺市(平成19年11月告示)
 - 3. 泉大津市悪臭公害防止指導要綱;泉大津市(昭和59年3月公布)
- ※ なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常 生活において感知しない程度」となっている。

3. 廃棄物等受入前調査結果 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月·水質 (処分場周辺))

		廃棄物等受	入前調査		
	☆ /\	(平成 20 年 5,8,11 月、	平成 21 年 2,5,8 月)		
佰日	区 分	処分場周辺(調査地点 13~18)			
項目		最小値 ~ 最大値	平均値		
		(m/n)	(m/n)		
	上層	$8.0 \sim 8.7$			
水素イオン濃度	/E	(19/36)			
(pH) [-]	下層	$7.8 \sim 8.3$	_		
	1 / 🖺	(0/36)			
化学的酸素要求量	上層	$2.1 \sim 8.1$	$4.3 \sim 5.8$		
		(26/36)	(6/6)		
(COD) [mg/L]	下層	$1.5 \sim 3.3$	$2.4 \sim 3.0$		
		(3/36)	(0/6)		
溶存酸素量	上層	$7.5 \sim 12 \ (0/36)$	$9.1 \sim 9.8$		
		1.9 ~ 9.5	$5.8 \sim 7.0$		
(DO) [mg/L]	下層	(9/36)	9.6 - 7.0		
n-ヘキサン抽出物質			10 7 10 7		
	上層	$<0.5 \sim <0.5$	<0.5 ~ <0.5		
[mg/L]		(0/36)			
^ #==	上層	$0.40 \sim 1.4$	$0.65 \sim 0.92$		
全窒素	上/盲		(6/6)		
(T-N) (mg/L)	下層	$0.18 \sim 0.79$	$0.32 \sim 0.44$		
	1 / 🖽		(0/6)		
全燐	上層	$0.033 \sim 0.18$	$0.067 \sim 0.097$		
			(6/6)		
(T-P) [mg/L]	下層	$0.014 \sim 0.16$	$0.034 \sim 0.075$		
			(4/6)		

注) 1.「最大~最小」の値は、調査地点13~18におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。

^{2.} m:環境基準を満たしていないデータ数、n:総データ数を示す。

^{3.「}平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小~最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

水質様式第6号

水質調査結果(放流水(連続測定:総括))

[平成29年 8月分]

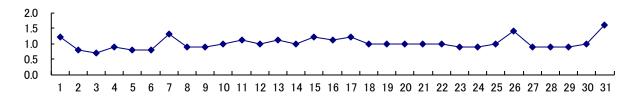
	区分	放流水			
項目		最小値	~	最大値	平均值
濁度	[度(カオリン)]	0.7	~	1.6	1.0
水温	[%]	30. 7	~	34. 5	31.8
рН	[-]	6. 9	~	7.0	6. 9
COD	[mg/L]	20. 2	~	28.6	21.8
DO	[mg/L]	4. 2	~	5.2	4.8
特記事項					

水質様式第7号

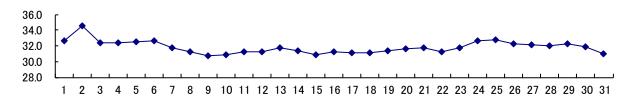
水質調査結果 (放流水 (連続測定))

[平成29年 8月分]

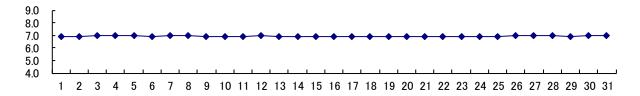
濁度[度(カオリン)]



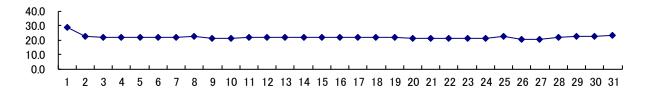
水温[℃]



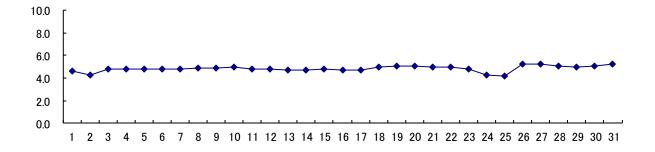
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L]



水質様式第8号

水質調査結果(放流水、内水①)[平成29年8月分]

区分		放流水		内水		
項目		SS	FSS		SS	FSS
	時刻			時刻		
調査日		[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]
8/1 (火)	10:00	< 1	< 1	9:40	3	< 1
8/9 (水)	10:00	< 1	< 1	9:50	3	2
8/16 (水)	10:00	< 1	< 1	10:30	3	< 1
8/22 (火)	10:00	< 1	< 1	9:40	3	1
8/29 (火)	10:00	< 1	< 1	9:40	2	< 1
平均值	—	< 1	< 1		3	1
最小値		< 1	< 1	_	2	< 1
最大値	_	< 1	< 1	_	3	2

特記事項		

水質様式第9号

水質調査結果(放流水、内水②)[平成29年8月分]

調査日:平成29年8月16日

	.,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
区分項目	放流水	内水
時刻	10:00	10:30
pH[-]	7.4(18℃)	8.1(16°C)
COD[mg/L]	23	28
T-N[mg/L]	7.1	8.6

特記事項		

水質様式第 10 号

水質調査結果(放流水、内水③)[平成29年8月分]

調査日 : 平成29年 8月16日

	P) - 3 - 1 - 1	1 /// 1 0 / 1 20 / 1
項目	放流水	内水
時刻	10:00	10:30
T-P [mg/0]	0.06	0.11
n-ヘキサン抽出物質[mg/0]	< 0.5	< 0.5
鉱油類含有量[mg/L]	< 0.5	< 0.5
動植物油脂含有量[mg/L]	< 0.5	< 0.5
大腸菌群数 [個/㎡]	120×10^{1}	120×10^{1}

特記事項			

水質調査結果 (護岸外周①) [平成29年8月分]

調査日:平成29年8月1日

		1	ī	1	ı			,
項目	調査点	19	20	21	最小値	~	最大値	平均値
時刻		8:47	9:24	10:15		_		_
透明度	[m]	7.8	6. 9	2. 5	2.5	\sim	7.8	5. 7
水温		28. 2	28. 3	28. 7	28. 2	~	28. 7	28. 4
	$[{\mathcal C}]$	23.8	22.9	23.0	22. 9	\sim	23.8	23. 2
塩分		27.7	27.8	25. 6	25. 6	~	27.8	27.0
	[-]	32. 1	32. 5	32. 4	32. 1	\sim	32.5	32.3
浮遊物質量(SS)	1	2	3	1	\sim	3	2
	[mg/L]	2	7	2	2	\sim	7	4
不揮発性浮遊!	物質量	<1	<1	1	<1	~	1	1
(FSS)		<1	3	<1	<1	\sim	3	2
水素イオン濃度		8. 4	8. 4	8. 5	8.4	~	8. 5	-
(pH)	[-]	7.9	7. 9	7.8	7.8	\sim	7. 9	-
化学的酸素要:	求量	3. 2	4. 9	5. 9	3. 2	~	5. 9	4. 7
(COD)	[mg/L]	3. 1	3. 5	3.6	3. 1	~	3.6	3. 4
	濃度	7. 5	7.3	9.6	7. 3	\sim	9.6	8. 1
溶存酸素量	[mg/L]	3. 2	2.5	2. 2	2. 2	\sim	3. 2	2.6
(DO)	飽和度	113	110	144	110	\sim	144	122
	[%]	46	35	31	31	\sim	46	37
全窒素		0.34	0.35	0.51	0.34	~	0.51	0.40
(T-N)	[mg/L]	0.40	0.50	0.44	0.40	\sim	0.50	0.45
全燐		0.056	0.062	0.061	0.056	~	0.062	0.060
(T-P)	[mg/L]	0.072	0.098	0. 097	0.072	\sim	0.098	0.089
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	~	<0.5	<0.5
大腸菌群数 [MPN/100mL]		<2	8. 0×10^{0}	1. 7×10^{1}	<2	\sim	1.7×10^{1}	9.0×10^{0}

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項			

水質調査結果(処分場周辺①)[平成29年8月分]

調査日:平成29年8月1日

								四里	至日:平成2	9年0月1日
項目	調査点	13	14	15	16	17	18	最小値 ~	~ 最大値	平均値
時刻		8:30	9:07	9:00	9:42	10:00	10:32	_	-	_
透明度	[m]	8. 1	7.0	4. 5	5. 1	2.8	3. 1	^		
水温		28. 3	28.3	27.8	29. 1	29. 1	28. 9	27.8	29. 1	28.6
	$[{\mathcal C}]$	23.6	23.7	23.7	24.3	23.9	23. 2	23. 2	24. 3	23. 7
塩分		27.6	27.3	27. 2	26.8	26.6	25. 9	25.9 ~	27.6	26. 9
	[-]	32.5	32.5	31.5	31.9	32.3	32. 4	31.5 ~	32.5	32.2
濁度		1	1	1	1	1	2	1 ~	2	1
[度	覂(カオリン)]	<1	3	8	10	6	5	<1 ~	- 10	6
浮遊物質量		1	2	4	1	7	3	1 ~	7	3
(SS)	[mg/L]	<1	3	9	9	9	5	<1 ~	9	6
不揮発性浮遊物	勿質量	<1	<1	1	<1	2	1	<1 ~	2	1
(FSS)	[mg/L]	<1	1	3	5	4	3	<1 ~	- 5	3
水素イオン濃度	度	8.4	8.5	8.4	8.5	8.6	8.6	8.4 ~	8.6	-
(pH)	[-]	7. 9	7. 9	7. 9	7.8	7.8	7.8	7.8 ~	7.9	-
化学的酸素要素		3. 2	3.2	3. 4	3. 4	5.0	4. 7	3.2 ~	5. 0	3.8
(COD)	[mg/L]	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2. 9	2.4 ~	2.9	2. 5
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	濃度	7. 5	7.8	7.3	8. 9	9.5	10	7.3 ~	10	8. 5
溶存酸素量	[mg/L]	3.4	3. 2	2.9	2.0	1.7	1.5	1.5 ~	3.4	2.5
(DO)	飽和度	113	117	109	135	144	150	109 ~	150	128
	[%]	48	46	41	29	24	21	21 ~	48	35
全窒素		0.46	0.30	0.32	0.39	0.57	0. 58	0.30 ~		0.44
(T-N)	[mg/L]	0.61	0.34	0.34	0.48	0.48	0.49	0.34 ~	*****	0.46
全燐		0.030	0.031	0.041	0.054	0.058	0.057	0.030 ~		0.045
(T-P)	[mg/L]	0.058	0.064	0.077	0.14	0.11	0.092	0.058 ~		0.090
クロロフィルを		1.0	1.0	1. 1	4. 0	12	5. 9	1.0		4. 2
(chl. a)	[μg/L]	1. 1	1.0	1.0	1. 2	1. 1	1.0	1.0		1. 1
n-ヘキサン抽出物質		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	,,,,	<0.5
大腸菌群数[M	IPN/100mL]	9. 0×10^{0}	<2	2.2×10^{1}	<2	1. 1×10^{1}	8. 0×10^{0}	<2 ~	$\sim 2.2 \times 10^{1}$	9. 0×10^{0}

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項			

大気質様式第9号(廃棄物搬入施設関連)

大気質測定結果総括表(大阪基地)[平成29年8月分]

項	測定点目	No. 2	No. 3
	有効測定日数 (日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
硫	測定時間数 (時間)	168	168
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数 (日)	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
窒	測定時間数 (時間)	168	168
素	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数(日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
状	測定時間数 (時間)	168	168
物 質	1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(堺基地)[平成29年8月分]

項	測 定 点	No. 1	No. 2
_	有効測定日数(日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)	0	0
硫	測定時間数 (時間)	168	168
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数(日)	7	7
_	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
酸	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0	0
化窒	測定時間数 (時間)	168	168
素	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮游	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	0	0
状物	測定時間数 (時間)	168	168
質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質測定結果総括表(泉大津基地)[平成29年8月分]

項	測 定 点目	No. A	No. B
	有効測定日数 (日)	7	7
酸化	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0
硫	測定時間数 (時間)	168	168
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
	有効測定日数(日)	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	0	0
窒	測定時間数 (時間)	168	168
素	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	0	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	0	0
浮遊	有効測定日数 (日)	7	7
粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0	0
状	測定時間数 (時間)	168	168
物 質	1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)	0	0
	備考		

大気質様式第10号(廃棄物搬入施設関連)

二酸化硫黄測定結果(大阪基地)[平成29年8月分]

測 定 点	No.	2	No. 3	
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 1 (火) 2 (水) 3 (木) 別 4 (金) 5 (土) 値 6 (日) 7 (月)	0. 007 0. 007 0. 006 0. 005 0. 005 0. 006 0. 003	0. 010 0. 010 0. 009 0. 008 0. 008 0. 009 0. 004	0. 007 0. 007 0. 006 0. 005 0. 006 0. 007 0. 003	0. 010 0. 009 0. 012
有効測定日数 (日)	7		7	
測 定 時 間 (時間)	16	88	16	58
期 間 平 均 値 (ppm)	0. (006	0. (006
日平均値の最高値 (ppm)	0.007		0.007	
1時間値の最高値 (ppm)	0.0)10	0. (012
1 時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)	()	()
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(堺基地)[平成29年8月分]

二酸化佩奥则足和米(外基地)[十成29年6月77]						
測 定 点	No.	1	No. 2			
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)		
日 17 (木) 18 (金) 19 (土) 別 20 (日) 21 (月) 値 22 (火) 23 (水)	0. 005 0. 004 0. 003 0. 004 0. 005 0. 004 0. 004	0. 014 0. 009 0. 005 0. 007 0. 012 0. 007 0. 009	0. 006 0. 006 0. 004 0. 004 0. 006 0. 005 0. 007	0. 007 0. 022 0. 015		
有効測定日数 (日)	7		7			
測 定 時 間 (時間)	16	88	16	58		
期間平均値(ppm)	0.004		0.005			
日平均値の最高値 (ppm)	0.005		0.007			
1時間値の最高値 (ppm)	0.014		0. 022			
1時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)	0		0			
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	()	()		

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(泉大津基地)[平成29年8月分]

一般化侧角侧足相关(水入净基地/[十次29平6月月]						
測 定 点	No. A		No. B			
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)		
日 25 (金) 26 (土) 27 (日) 別 28 (月) 29 (火) 値 30 (水) 31 (木)	0. 008 0. 007 0. 006 0. 007 0. 007 0. 008 0. 007	0. 016 0. 009 0. 011	0. 006 0. 005 0. 004 0. 005 0. 005 0. 005	0. 009 0. 008 0. 008 0. 011 0. 007 0. 008 0. 009		
有効測定日数 (日)	7		7			
測 定 時 間 (時間)	16	38	16	38		
期 間 平 均 値 (ppm)	0.007		0.005			
日平均値の最高値 (ppm)	0.008		0. 006			
1時間値の最高値 (ppm)	0. (016	0. ()11		
1時間値が0.1ppmを 超えた時間数 (時間)	()	()		
日平均値が0.04ppmを 超えた日数 (日)	()	()		

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第11号(廃棄物搬入施設関連)

一酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成29年8月分]

	測 定 点			No.	2	No. 3		
	Į	頁	E		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日	2 (火) 水)			0. 003 0. 002	0. 012 0. 005	0. 003 0. 002	0. 010 0. 004
別	4 (木) 金) 十)			0. 004 0. 005 0. 003	0. 009 0. 011 0. 010	0. 003 0. 004 0. 004	0. 006 0. 008 0. 013
値	6 (7 (上)月)			0. 003 0. 002 0. 004	0. 010 0. 012 0. 011	0. 004 0. 003 0. 003	0. 013 0. 014 0. 008
有多	効 測 定	: 日	数	(日)	7	7	7	7
測	定時	間		(時間)	168		168	
期 間 平 均 値 (ppm) 0.003				003	0. (003		
日平均値の最高値 (ppm)			0.005		0.004			
1 時	間値の	最高	直	(ppm)	0. ()12	0. ()14

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(堺基地)[平成29年8月分]

故心里来从之相不(为圣记)[一次20年3月月]						
測 定 点	No.	1	No. 2			
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)		
日 17 (木) 18 (金) 19 (土) 別 20 (日) 21 (月) 値 22 (火) 23 (水)	0. 010 0. 012 0. 005 0. 001 0. 008 0. 020 0. 016	0. 053 0. 042 0. 020 0. 002 0. 026 0. 071 0. 047	0. 008 0. 009 0. 005 0. 002 0. 010 0. 017 0. 015	0. 029 0. 025 0. 023 0. 007 0. 020 0. 048 0. 039		
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7			
測 定 時 間 (時間)	168		168			
期 間 平 均 値 (ppm) 0.010 0.009						
日平均値の最高値 (ppm)	0. 020		0.017			
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	71	0. 048			

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成29年8月分]

故心里来从之间不(小八个圣记/[[/次20十0/]]						
測 定 点	No.	A	No. B			
項目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)		
日 25 (金) 26 (土)	0. 017 0. 009	0. 051 0. 029	0. 002 0. 003			
別 27 (日) 28 (月)	0. 004 0. 017	0. 011 0. 069	0. 001 0. 006			
29 (火) 30 (水) 31 (木)	0. 010 0. 022 0. 016	0. 054 0. 073 0. 048	0. 004 0. 006 0. 005	0.019		
有効測定日数 (日)	7		7			
測 定 時 間 (時間)	168		168			
期 間 平 均 値 (ppm) 0.014 0.004						
日平均値の最高値 (ppm)	0. 022		0.006			
1時間値の最高値 (ppm)	0. ()73	0. 022			

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の 集計の対象としない。

大気質様式第12号(廃棄物搬入施設関連)

二酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成29年8月分]

測 定 点	No. 2		No. 3	
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 1 (火) 2 (水) 3 (木) 別 4 (金) 5 (土) 値 6 (日)	0. 026 0. 018 0. 021 0. 031 0. 018 0. 015	0. 028 0. 035 0. 057 0. 033 0. 029	0. 032 0. 018 0. 026 0. 037 0. 018	0. 054 0. 040 0. 043 0. 068 0. 041 0. 038
7 (月) 有 効 測 定 日 数 (日)	0.021	0. 038 7	0. 027	0. 051
測 定 時 間 (時間)	16	38	16	58
期 間 平 均 値 (ppm)	0.0	021	0. ()25
日平均値の最高値 (ppm)	0. (031	0. ()37
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	057	0. ()68
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	()	()
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)	()	()
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	()	()
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果(堺基地)[平成29年8月分]

測 定 点	No.	. 1	No.	. 2
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 17 (木) 日 18 (金) 19 (土) 別 20 (日) 21 (月) 値 22 (火) 23 (水)	0. 026 0. 018 0. 021 0. 031 0. 018 0. 015 0. 021	0. 028 0. 035 0. 057 0. 033 0. 029	0. 037 0. 018 0. 017	0. 068 0. 041 0. 038
有 効 測 定 日 数 (日)	-	7	-	7
測 定 時 間 (時間)	16	38	16	68
期 間 平 均 値 (ppm)	0. (021	0.0)25
日平均値の最高値 (ppm)	0. (031	0.0	037
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	057	0.0	068
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	()	()
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)	()	()
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	()	()
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成29年8月分]

	<u> </u>	<u> </u>		
測 定 点	No	.A	No.	В
項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日 25 (金) 日 26 (土) 27 (日) 別 28 (月) 29 (火) 値 30 (水) 31 (木)	0. 026 0. 018 0. 021 0. 031 0. 018 0. 015 0. 021	0. 028 0. 035 0. 057 0. 033 0. 029	0. 032 0. 018 0. 026 0. 037 0. 018 0. 017 0. 027	0. 054 0. 040 0. 043 0. 068 0. 041 0. 038 0. 051
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7
測 定 時 間 (時間)	16	68	16	38
期 間 平 均 値 (ppm)	0.0	021	0.0)25
日平均値の最高値 (ppm)	0.0	031	0.0)37
1時間値の最高値 (ppm)	0.0	057	0.0)68
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)	()	()
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)	()	()
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	()	()
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)	()	()
and the first property of the state of the s				

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第13号(廃棄物搬入施設関連)

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(大阪基地)[平成29年8月分]

至来故市场(100-1110-11)加入市本(大阪全地)[1782-117]												
測 定 点		No. 2			No. 3							
	日平均	値	1 吐明体の	日平	均值	1 吐眼体の						
項目		NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)						
日 1 (火) 2 (水) 3 (木) 別 4 (金) 5 (土) 値 6 (日) 7 (月)	0. 013 0. 010 0. 013 0. 016 0. 011 0. 010 0. 013	84. 6 90. 0 76. 9 68. 8 72. 7 80. 0 69. 2	0. 029 0. 023 0. 024 0. 024 0. 023 0. 026 0. 027	0. 017 0. 012 0. 013 0. 015 0. 015 0. 013 0. 014	82. 4 83. 3 76. 9 73. 3 73. 3 76. 9 78. 6	0. 033 0. 017 0. 020 0. 023 0. 025 0. 026 0. 023						
有効測定日数 (日)		7		7								
測 定 時 間 (時間)		168			168							
期間平均値(ppm)		0.012			0.014							
日平均値の最高値 (ppm)		0.016		0. 017								
1時間値の最高値 (ppm)		0.029		0. 033								
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		75. 0			78.6							

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。 $2. NO_2/(NO+NO_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

容素酸化物(NO+NO2)測定結果(規其地)[平成29年8日分]

至来的L物(N	UTNUZ/ 例足和未	《外圣地/[十/	以23十0万 /	J]			
測 定 点	No. 1			No. 2			
	日平均値	4 PH HB / H P	日平	均値	4 PH HB /* 0		
項目	(ppm) NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	- 1 時間値の 最高値 (ppm)	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)		
日 17 (木) 18 (金) 19 (土) 別 20 (日) 21 (月) 値 22 (火) 23 (水)	0. 032 68. 6 0. 039 66. 0 0. 021 76. 0 0. 007 85. 0 0. 028 67. 0 0. 036 44. 0 0. 038 57. 0	7 0. 074 0. 051 7 0. 012 9 0. 072 1 0. 091	0. 019 0. 011 0. 029 0. 033		0. 060 0. 051 0. 049 0. 016 0. 060 0. 070 0. 058		
有 効 測 定 日 数 (日)	7		7				
測 定 時 間 (時間)	168			168			
期 間 平 均 値 (ppm)	0.029			0.026			
日平均値の最高値 (ppm)	0.039		0. 035				
1時間値の最高値 (ppm)	0.096		0.070				
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)	62. 1			61.5			

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば () 書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。 2.NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果(泉大津基地)[平成29年8月分]

測 定 点	No. A			No. B			
	日平均値	1 時間値の	日平	均値	1 吐明体の		
項目	(ppm) NO ₂ / 最高値 (ppm) (%)		$\begin{array}{c} \text{NO}_2 \diagup \\ \text{(ppm)} & \text{(NO+NO}_2) \\ \text{(%)} \end{array}$		1時間値の 最高値 (ppm)		
日 25 (金) 26 (士) 27 (日) 別 28 (月) 29 (火) 値 30 (水) 31 (木)	0. 033 51 0. 025 64 0. 013 69 0. 038 52 0. 024 58 0. 045 51 0. 034 52	0 0.055 2 0.026 6 0.102 3 0.078 1 0.103	0. 018 0. 008 0. 025 0. 016 0. 024	80. 0 77. 8 75. 0 76. 0 68. 8 75. 0 77. 3	0. 014 0. 034 0. 016 0. 068 0. 036 0. 046 0. 040		
有効測定日数 (日)	7		7				
測 定 時 間 (時間)	168			168			
期間平均値(ppm)	0.03			0.017			
日平均値の最高値 (ppm)	0.04		0. 025				
1時間値の最高値 (ppm)	0.10		0. 068				
期間平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)	56. 7		76. 5				

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。 $2. NO_2/(NO+NO_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。 B(期間) 平均値 $NO_2/(NO+NO_2)$

日(期間)平均値NO2/(NO+NO2)

⁼⁽NO及びNO2が同時測定されている時間のNO2濃度の日(期間)間にわたる総和)/ (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO+NO2濃度の日(月)間にわたる総和)

日 (期間) 平均値NO₂/(NO+NO₂)

 $⁼⁽NO及UNO_2$ が同時測定されている時間のNO2濃度の+(期間)間にわたる総和)/ (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO+NO2濃度の日(月)間にわたる総和)

⁼⁽NO及びNO2が同時測定されている時間のNO2濃度の日(期間)間にわたる総和)/ (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO+NO2濃度の日(月)間にわたる総和)

大気質様式第14号(廃棄物搬入施設関連)

浮遊粒子状物質測定結果(大阪基地)[平成29年8月分]

測 定 点	No.	. 2	No.	.3
項目	日平均値 (mg/m³)	1時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 1 (火) 2 (水) 3 (木) 別 4 (金) 5 (土) 値 6 (日) 7 (月)	0. 019 0. 012 0. 009 0. 014 0. 013 0. 017 0. 010	0. 029 0. 053 0. 040 0. 033	0. 023 0. 015 0. 011 0. 015 0. 021 0. 022 0. 012	0. 053 0. 028 0. 028 0. 027 0. 037 0. 041 0. 017
有 効 測 定 日 数 (日)	7	7	Ĩ	7
測 定 時 間 (時間)	16	68	16	38
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0.0	014	0. ()17
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.0	019	0. ()23
1 時間値の最高値 (mg/m³)	0.0	053	0. ()53
1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	()	()
日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	()	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(堺基地)[平成29年8月分]

77 E E T T T T T T T T T T T T T T T T T	,, , _ , , , , , , , , , , , , , , 			
測 定 点	No.	1	No.	.2
項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)
日 17 (木) 18 (金) 19 (土)	0. 025 0. 027 0. 019	0. 037 0. 043 0. 031	0. 013 0. 011 0. 015	0. 035 0. 030 0. 029
別 20 (日) 21 (月)	0. 024 0. 040	0. 051 0. 053 0. 047	0. 016 0. 030	0. 032 0. 052
値 22 (火) 23 (水)	0. 025 0. 029	0. 045 0. 049	0. 019 0. 026	0. 039 0. 058
有 効 測 定 日 数 (日)	7	,	7	7
測 定 時 間 (時間)	16	8	16	68
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0.0)27	0.0)19
日平均値の最高値 (mg/m³)	0.0)40	0.0)30
1 時間値の最高値 (mg/m³)	0.0)53	0.0)58
1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0)	()
日平均値が0.10mg/m³を超えた日数 (日)	0)	()

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(泉大津基地)[平成29年8月分]

測 定 点	No.	.A	No.	В	
項目	日平均値 (mg/m³) 1 時間値の 最高値 (mg/m³)		日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)	
日 25 (金) 26 (土) 27 (日)	0. 031 0. 022 0. 020	0. 048 0. 046 0. 028	0. 029 0. 026 0. 024	0. 055 0. 051 0. 032	
別 28 (月) 29 (火) 値 30 (木)	0. 031 0. 035 0. 024		0. 033 0. 040 0. 023	0. 048 0. 063 0. 053	
31 (木) 有 効 測 定 日 数 (日)	0.013		0. 017 0. 027 7		
測 定 時 間 (時間)	16	38	168		
期 間 平 均 値 (mg/m³)	0. ()25	0. ()27	
日平均値の最高値 (mg/m³)	0. (035	0. ()40	
1 時間値の最高値 (mg/m³)	0. (057	0. ()63	
1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	()	()	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)	()	()	
注・1日の測定時間が90時間+港でなれば () まじ	ナス スのせ		古の生計の対	色し. 1 チュ」、	

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第15号(廃棄物搬入施設関連)

気象観測結果(風向・風速)(大阪基地)[平成29年8月分]

	NOW CONTINUE (2017) (NOTE: 1 / NOTE: 1 0 / 1 / NOTE: 1 0 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1												
	測 定	点			No. 2			No. 3					
				風 返	Ē	最多		最多					
項目			平均	最 大 風 速		風向	平均	最大	. 風速	風向			
		Ħ	風速	風速	風向		風速	風速	風向				
			(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	(m/s)	16方位	16方位			
日	1 (火) 2 (水)		2. 1 2. 3	4. 0 3. 2	N ENE	N N	2. 8 2. 9	4.8		NNE ENE			
別	3 (木) 4 (金)		3. 0 2. 6	3. 5 4. 0	ENE, NE ENE	ENE ENE	4. 1 3. 4	5. 5 4. 8		ENE ENE			
値	5 (土) 6 (日) 7 (月)		2. 2 1. 8 2. 8	4. 7 5. 0 5. 4	W W ENE	WSW NE ENE	2. 8 2. 5 4. 0	5. 8 5. 6 6. 4	W	W W ENE			
有多	効測定日	数 (日)	2.01	0. 1	7	<u>DIND</u>	1. 0	0. 1	7	DIVE			
測	定 時 間	(時間)			168				168				
期間	平均風速	(m/s)			2.4				3. 2				
期間	最大風速	(m/s)			5. 4				6.4				
期間	最多風向	(16方位)			ENE		ENE						

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向・風速)(堺基地)[平成29年8月分]

	ン/2次/2017/14日次 (2017-1-122-1-127-1-1-127-1-1-127-1-1-127-1-127-1-127-1-127-1-127-1-127-1-127-1													
	測	定	点			No. 1			No. 2					
					風 速 最多 風 速			最多						
1石 日			平均	最大	. 風速	風向	平均	最大	. 風速	風向				
	項	目		風速	風速	風向		風速	風速	風向				
				(m/s)	(m/s)	16方位	16方位	(m/s)	$(\mathrm{m/s})$	16方位	16方位			
田	17(木 18(金			1.1	2. 0 2. 1	W W	W W	1. 4	2. 7 2. 9	W W	W W			
	19 (土			1. 1 1. 1	1. 9	WNW, W	WNW	1. 3 1. 4	2. 9 3. 0		W			
別	20 (日			1. 1	2.0	,	W	1. 4	2. 9	WSW	WSW			
値	21(月 22(火			1. 4 1. 4	2. 3 2. 3	WNW W	WNW WNW	1. 2 1. 4	3. 1 3. 1	WSW W	W W			
	23 (水	.)		1.3	2.0	W	W	1.6	2.8	W	WSW			
有多	劝測定	日 数	(日)			7	•			7	•			
測	定時	間	(時間)			168				168				
期間	平均風速		(m/s)			1.2				1.4				
期間	最大風速		(m/s)			2.3				3. 1				
期間	最多風向	(16方位)			W		W						

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向・風速)(泉大津基地)[平成29年8月分]

測 定 点 No.A No.B	
10.11	
風 速 最多 風 速	最多
平均 最 大 風 速 風向 平均 最 大 風 速	風向
項 目 風速 風向 風速 風向	
(m/s) (m/s) 16方位 16方位 (m/s) (m/s) 16方位	16方位
日 25 (金) 1.9 3.2 WSW WSW 1.2 1.9 SW, SSW 1.5 2.5 NF WSW 1.2 2.3 SF	SW
日 26 (土)	N E
別 28 (月) 1.0 1.8 W ESE 0.9 1.9 NNW	SSE
29 (火) 1.0 2.8 WSW W 0.9 2.5 NNW	S
値 30 (水)	NNE NNW
有 効 測 定 日 数 (日) 7 7	111111
測 定 時 間 (時間) 168 168	
期間平均風速 (m/s) 1.4 1.3	
期間最大風速 (m/s) 4.0 4.2	
期間最多風向 (16方位) WSW NNW	·

注:1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

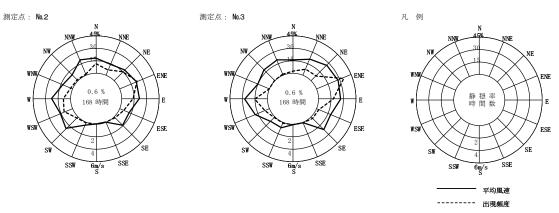
風向別出現頻度及び風向別平均風速(大阪基地)[平成29年8月分]

測定点:No.2

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	11	24	38	23	9	3	_	-	1	3	17	13	3	1	2	19	1	168
頻 度 (%)	6.5	14. 3	22. 6	13. 7	5. 4	1.8	_	_	0.6	1.8	10.1	7. 7	1.8	0.6	1. 2	11. 3	0.6	-
平均風速(m/s)	1.8	2.4	2. 9	2.8	1.7	1.9	_	_	0.5	2. 6	2.0	2. 9	1.6	1.3	2. 5	2. 3	0.1	-

測定点:No.3

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	13	14	57	28	4	3	_	_	1	1	10	26	1	1	3	5	1	168
頻 度 (%)	7. 7	8.3	33. 9	16. 7	2. 4	1.8	_	_	0.6	0.6	6. 0	15. 5	0.6	0.6	1.8	3. 0	0.6	_
平均風速(m/s)	2.8	3. 4	3. 6	3. 4	2. 3	2.8	_	_	0.9	1.0	2. 4	3. 6	2.0	2. 5	2. 6	2. 1	0.3	_



風 配 図 (大阪基地)[平成29年8月分]

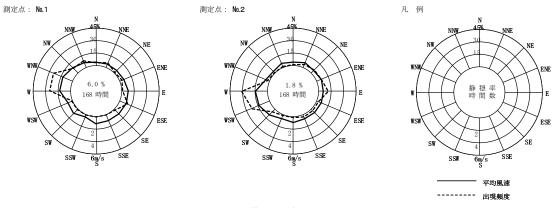
風向別出現頻度及び風向別平均風速(堺基地)[平成29年8月分]

測定点:No.1

例是示.No.1																		
方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	9	2	5	2	18	4	1	1	1	1	2	41	40	13	13	5	10	168
頻 度 (%)	5. 4	1.2	3. 0	1.2	10.7	2. 4	0.6	0.6	0.6	0.6	1.2	24. 4	23.8	7. 7	7.7	3.0	6.0	_
平均風速(m/s)	0.5	0.5	0.7	1.1	1. 2	1.1	1.1	1.2	0.4	1.0	0.8	1.7	1.6	1. 1	0.8	0.5	0.2	_

測定点:No.2

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	7	9	10	18	3	3	4	1	1	7	38	52	5	1	3	3	3	168
頻 度 (%)	4. 2	5. 4	6.0	10.7	1.8	1.8	2. 4	0.6	0.6	4. 2	22.6	31.0	3. 0	0.6	1.8	1.8	1.8	_
平均風速(m/s)	0.9	0.6	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.9	0.6	1. 3	1.8	2.0	0.7	0.4	0.8	0.6	0. 2	_



風 配 図 (堺基地)[平成29年8月分]

大気質様式第16号(廃棄物搬入施設関連)

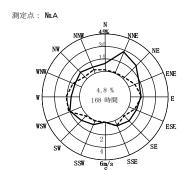
風向別出現頻度及び風向別平均風速(泉大津基地)[平成29年8月分]

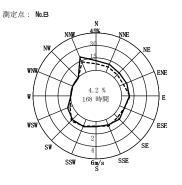
測定<u>点:</u>No.A

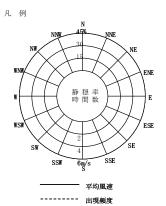
方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	2	3	13	22	13	4	12	_	1	4	27	26	18	6	7	2	8	168
頻 度 (%)	1. 2	1.8	7. 7	13. 1	7.7	2. 4	7. 1	_	0.6	2. 4	16. 1	15. 5	10.7	3. 6	4. 2	1. 2	4. 8	_
平均風速(m/s)	3.6	2. 9	1.8	1.7	1.4	1.4	1.0	_	0.7	1.2	1.9	1.3	1. 1	1. 4	1.0	1. 2	0. 1	_

測定点:No.B

W1 VC WW . 110. D																		
方位項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	12	9	8	16	9	9	13	9	14	20	5	_	_	_	23	14	7	168
頻 度 (%)	7. 1	5. 4	4.8	9. 5	5. 4	5. 4	7.7	5. 4	8. 3	11.9	3. 0	_	_	_	13. 7	8. 3	4. 2	_
平均風速(m/s)	1.4	1. 1	1.2	1.2		1. 1	0.9	0.8	1. 2	1.3	0. 9	_	_	_	2. 7	1. 6	0. 2	_







風 配 図 (泉大津基地)[平成29年8月分]

交通量調査結果総括表(大阪基地) [平成29年8月分]

調査日時:平成29年8月2日 8時~18時

調査地点		総交通量	量 (台)		廃棄物輸送
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	車混入率 (%)
No. 1	6, 166	5, 974	12, 140	14	0. 1
No. 2	3, 959	8, 479	12, 438	6	0.0
No. 3	_	_	_	_	_
No. 4	718	912	1,630	100	6. 1

交通量調査結果総括表 (堺基地) [平成29年8月分]

調査日時:平成29年8月17日 8時~18時

調査地点		総交通量	 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	平此八 学 (%)
No. 1	11, 243	13, 529	24, 772	142	0.6
No. 2	3, 062	11, 088	14, 150	8	0. 1
No. 3	8, 795	12, 198	20, 993	35	0. 2
No. 4	318	42	360	324	90. 0

注:調査地点No.4の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、 8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果総括表(泉大津基地) [平成29年8月分]

調査日時:平成29年8月25日 8時~18時

調査地点		総交通量	量 (台)		廃棄物輸送 車混入率
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	平此八 平 (%)
No. A	5, 933	18, 634	24, 567	33	0.1
No. B	4, 713	4, 321	9, 034	16	0.2
No. C	768	1, 370	2, 138	110	5. 1

交通量調査結果(大阪基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. 1

調査日時:平成29年8月2日

加1111	時:平)	成29牛	8月4日															
			中島	方面					歌島	喬方面					合	計		
時刻	3	交通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	祉	廃棄物 輸送車	and a state	輸送車 混入率 (%)
08:00	222	606	828	0	26.8	0.0	307	234	541	1	56. 7	0.2	529	840	1, 369	1	38. 6	0.1
09:00	420	306	726	0	57.9	0.0	336	168	504	0	66.7	0.0	756	474	1, 230	0	61. 5	0.0
10:00	396	271	667	1	59.4	0. 1	276	229	505	1	54.7	0.2	672	500	1, 172	2	57. 3	0.2
11:00	402	300	702	0	57.3	0.0	349	342	691	1	50.5	0.1	751	642	1, 393	1	53. 9	0.1
12:00	390	270	660	0	59.1	0.0	271	216	487	1	55. 6	0.2	661	486	1, 147	1	57. 6	0.1
13:00	216	318	534	0	40.4	0.0	198	180	378	0	52. 4	0.0	414	498	912	0	45. 4	0.0
14:00	384	300	684	0	56. 1	0.0	289	258	547	1	52.8	0.2	673	558	1, 231	1	54. 7	0.1
15:00	331	241	572	2	57.9	0.3	334	276	610	4	54.8	0.7	665	517	1, 182	6	56. 3	0.5
16:00	306	295	601	1	50.9	0. 2	307	342	649	1	47.3	0.2	613	637	1, 250	2	49.0	0.2
17:00	240	270	510	0	47.1	0.0	192	552	744	0	25.8	0.0	432	822	1, 254	0	34. 4	0.0
8:00~ 18:00	3, 307	3, 177	6, 484	4	51.0	0.1	2, 859	2, 797	5, 656	10	50. 5	0.2	6, 166	5, 974	12, 140	14	50.8	0.1

交通量調査結果(大阪基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. 2

調査日時:平成29年8月2日

調査日	丏:平)	双29年	8月2日															
			中島	方面					歌島	橋方面					合	計		
時刻	3	を通量((台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	의미크 글로	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類		廃棄物 輸送車	NH	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	#	廃棄物 輸送車	NO 3 -	輸送車 混入率 (%)
08:00	235	420	655	1	35. 9	0. 2	246	426	672	0	36.6	0.0	481	846	1, 327	1	36. 2	0.1
09:00	295	372	667	1	44. 2	0. 1	162	474	636	0	25. 5	0.0	457	846	1, 303	1	35. 1	0.1
10:00	198	396	594	0	33.3	0.0	198	414	612	0	32.4	0.0	396	810	1, 206	0	32. 8	0.0
11:00	241	510	751	1	32. 1	0. 1	198	373	571	1	34. 7	0.2	439	883	1, 322	2	33. 2	0.2
12:00	204	438	642	0	31.8	0.0	252	438	690	0	36. 5	0.0	456	876	1, 332	0	34. 2	0.0
13:00	150	354	504	0	29.8	0.0	150	396	546	0	27.5	0.0	300	750	1,050	0	28. 6	0.0
14:00	246	462	708	0	34. 7	0.0	138	474	612	0	22.5	0.0	384	936	1, 320	0	29. 1	0.0
15:00	192	414	606	0	31.7	0.0	200	480	680	2	29.4	0.3	392	894	1, 286	2	30. 5	0.2
16:00	246	438	684	0	36.0	0.0	84	312	396	0	21. 2	0.0	330	750	1,080	0	30.6	0.0
17:00	132	360	492	0	26.8	0.0	192	528	720	0	26. 7	0.0	324	888	1, 212	0	26. 7	0.0
8:00~ 18:00	2, 139	4, 164	6, 303	3	33. 9	0.0	1,820	4, 315	6, 135	3	29. 7	0.0	3, 959	8, 479	12, 438	6	31. 8	0.0

交通量調査結果(大阪基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. 4

調查目時: 平成29年8月2日

調査日	時:平)	成29年	8月2日															
			海:	方面					国道4	3号方面					合	計		
時刻	3	芝通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	***	廃棄物 輸送車	八王 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八王 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	51	96	147	3	34. 7	2.0	42	108	150	0	28.0	0.0	93	204	297	3	31. 3	1.0
09:00	32	26	58	10	55. 2	17. 2	16	38	54	12	29.6	22. 2	48	64	112	22	42. 9	19. 6
10:00	64	18	82	10	78.0	12. 2	94	30	124	10	75.8	8. 1	158	48	206	20	76. 7	9.7
11:00	30	50	80	8	37.5	10.0	34	19	53	5	64.2	9.4	64	69	133	13	48. 1	9.8
12:00	22	48	70	4	31.4	5. 7	29	25	54	6	53.7	11. 1	51	73	124	10	41. 1	8. 1
13:00	42	14	56	8	75.0	14. 3	71	13	84	6	84.5	7. 1	113	27	140	14	80. 7	10.0
14:00	31	48	79	7	39. 2	8.9	45	132	177	9	25.4	5. 1	76	180	256	16	29. 7	6.3
15:00	6	12	18	0	33. 3	0.0	25	19	44	2	56.8	4. 5	31	31	62	2	50.0	3. 2
16:00	36	30	66	0	54.5	0.0	6	24	30	0	20.0	0.0	42	54	96	0	43.8	0.0
17:00	24	60	84	0	28.6	0.0	18	102	120	0	15.0	0.0	42	162	204	0	20.6	0.0
8:00~ 18:00	338	402	740	50	45.7	6.8	380	510	890	50	42.7	5. 6	718	912	1,630	100	44.0	6. 1

交通量調査結果(堺基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. 1

調查日時:平成29年8月17日

調査日	時:平	成29年	8月17日															
			大阪	方面					和歌	山方面					合	計		
時刻	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	を通量 ((台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	No. 1	輸送車 混入率 (%)
08:00	519	1,069	1,588	4	32.7	0.3	398	715	1, 113	9	35.8	0.8	917	1,784	2,701	13	34. 0	0.5
09:00	660	612	1,272	12	51.9	0.9	562	516	1,078	10	52.1	0.9	1,222	1, 128	2,350	22	52.0	0.9
10:00	804	606	1,410	6	57.0	0.4	726	505	1,231	13	59.0	1.1	1,530	1, 111	2,641	19	57. 9	0.7
11:00	644	607	1,251	15	51.5	1.2	570	516	1,086	6	52.5	0.6	1,214	1, 123	2, 337	21	51. 9	0.9
12:00	617	522	1, 139	5	54.2	0.4	680	504	1, 184	2	57.4	0.2	1, 297	1,026	2, 323	7	55.8	0.3
13:00	578	546	1,124	14	51.4	1.2	545	522	1,067	11	51.1	1.0	1, 123	1,068	2, 191	25	51.3	1. 1
14:00	694	636	1,330	16	52.2	1.2	630	522	1, 152	6	54.7	0.5	1,324	1, 158	2, 482	22	53. 3	0.9
15:00	561	612	1, 173	3	47.8	0.3	522	667	1, 189	7	43.9	0.6	1,083	1, 279	2, 362	10	45. 9	0.4
16:00	373	750	1, 123	1	33. 2	0.1	524	918	1,442	2	36.3	0.1	897	1,668	2, 565	3	35. 0	0.1
17:00	324	1,080	1,404	0	23. 1	0.0	312	1, 104	1,416	0	22.0	0.0	636	2, 184	2,820	0	22.6	0.0
8:00~ 18:00	5,774	7, 040	12,814	76	45. 1	0.6	5, 469	6, 489	11, 958	66	45. 7	0.6	11, 243	13, 529	24, 772	142	45. 4	0.6

交通量調査結果(堺基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. 2

調査日	時:半	成29年	8月17日										A ∌I					
			国道20	5号方面					阪神高	速方面					合	計		
時刻	3	交通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	11111	廃棄物 輸送車	3H T H	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率	輸送車 混入率 (%)
08:00	102	336	438	0	23.3	0.0	120	666	786	0	15. 3	0.0	222	1,002	1, 224	0	18. 1	0.0
09:00	182	390	572	2	31.8	0.3	183	588	771	3	23. 7	0.4	365	978	1, 343	5	27. 2	0.4
10:00	163	330	493	1	33. 1	0.2	222	636	858	0	25. 9	0.0	385	966	1, 351	1	28. 5	0.1
11:00	120	474	594	0	20.2	0.0	198	630	828	0	23. 9	0.0	318	1, 104	1, 422	0	22. 4	0.0
12:00	211	492	703	1	30.0	0. 1	150	618	768	0	19.5	0.0	361	1, 110	1, 471	1	24. 5	0.1
13:00	114	396	510	0	22.4	0.0	174	774	948	0	18. 4	0.0	288	1, 170	1, 458	0	19.8	0.0
14:00	175	570	745	1	23.5	0. 1	180	606	786	0	22. 9	0.0	355	1, 176	1,531	1	23. 2	0.1
15:00	192	552	744	0	25.8	0.0	126	474	600	0	21.0	0.0	318	1,026	1, 344	0	23. 7	0.0
16:00	132	582	714	0	18.5	0.0	96	594	690	0	13. 9	0.0	228	1, 176	1, 404	0	16. 2	0.0
17:00	114	774	888	0	12.8	0.0	108	606	714	0	15. 1	0.0	222	1, 380	1,602	0	13. 9	0.0
8:00~ 18:00	1,505	4,896	6, 401	5	23. 5	0. 1	1, 557	6, 192	7, 749	3	20. 1	0.0	3, 062	11, 088	14, 150	8	21. 6	0.1

交通量調査結果(堺基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. 3

調查日時:平成29年8月17日

調査日	時:平)	攻29年	8月17日				+15+=											
			和歌	山方面					大阪	方面					合	計		
時刻	3	を通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	NH + ++	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	#	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	294	732	1,026	0	28.7	0.0	307	1,069	1, 376	2	22.3	0.1	601	1,801	2, 402	2	25. 0	0.1
09:00	510	524	1,034	8	49.3	0.8	517	642	1, 159	1	44.6	0.1	1,027	1, 166	2, 193	9	46.8	0.4
10:00	512	445	957	3	53.5	0.3	610	312	922	4	66. 2	0.4	1, 122	757	1,879	7	59. 7	0.4
11:00	606	570	1, 176	0	51.5	0.0	582	366	948	0	61.4	0.0	1, 188	936	2, 124	0	55. 9	0.0
12:00	458	420	878	2	52.2	0. 2	493	408	901	1	54. 7	0.1	951	828	1,779	3	53. 5	0.2
13:00	489	552	1,041	3	47.0	0.3	339	379	718	4	47. 2	0.6	828	931	1, 759	7	47. 1	0.4
14:00	541	636	1, 177	1	46.0	0. 1	375	427	802	4	46.8	0.5	916	1,063	1, 979	5	46. 3	0.3
15:00	374	612	986	2	37.9	0.2	408	594	1,002	0	40.7	0.0	782	1, 206	1, 988	2	39. 3	0.1
16:00	474	660	1,134	0	41.8	0.0	390	690	1,080	0	36. 1	0.0	864	1, 350	2, 214	0	39. 0	0.0
17:00	324	1,374	1,698	0	19. 1	0.0	192	786	978	0	19.6	0.0	516	2, 160	2,676	0	19. 3	0.0
8:00~ 18:00	4, 582	6, 525	11, 107	19	41.3	0.2	4, 213	5, 673	9, 886	16	42.6	0.2	8, 795	12, 198	20, 993	35	41.9	0. 2

交通量調査結果(堺基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. 4

調査日時:平成29年8月17日

- 門里 - 日	フェニックス方面 交通量(台/時) + _{大利車} 廃3								堺	方面					合	計		
時刻	3	を通量	(台/時)		上 刑 亩	廃棄物	7	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	NO 7 -	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)
08:00	25	6	31	19	80.6	61. 3	0	0	0	0	-	-	25	6	31	19	80.6	61.3
09:00	24	3	27	27	88. 9	100.0	43	1	44	38	97.7	86. 4	67	4	71	65	94. 4	91.5
10:00	25	1	26	26	96. 2	100.0	27	2	29	29	93. 1	100.0	52	3	55	55	94. 5	100.0
11:00	21	1	22	22	95. 5	100.0	22	1	23	23	95. 7	100.0	43	2	45	45	95. 6	100.0
12:00	14	1	15	15	93.3	100.0	16	1	17	17	94. 1	100.0	30	2	32	32	93.8	100.0
13:00	20	7	27	21	74. 1	77.8	18	14	32	20	56. 3	62.5	38	21	59	41	64. 4	69. 5
14:00	18	2	20	20	90.0	100.0	20	1	21	21	95. 2	100.0	38	3	41	41	92. 7	100.0
15:00	12	0	12	12	100.0	100.0	10	1	11	11	90. 9	100.0	22	1	23	23	95. 7	100.0
16:00	0	0	0	0	-	-	3	0	3	3	100	100	3	0	3	3	100	100
17:00	-	-	ı	-	-	-	-	-	I	-	-	-	-	-	ı	-	-	-
8:00~ 18:00	159	21	180	162	88.3	90. 0	159	21	180	162	88. 3	90.0	318	42	360	324	88. 3	90.0

注:堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、調査時間を8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果(泉大津基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. A

調查日時:平成29年8月25日

調	時: 平	平成29年8月25日 大阪方面 和ii																
			大阪	方面					和歌	山方面					合	計		
時刻	2	全通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	定通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量((台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	NH	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	八至年 混入率 (%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	No. 1	輸送車 混入率 (%)
08:00	309	1,399	1,708	4	18.1	0.2	156	702	858	0	18.2	0.0	465	2, 101	2,566	4	18. 1	0.2
09:00	506	739	1,245	3	40.6	0.2	201	870	1,071	3	18.8	0.3	707	1,609	2,316	6	30. 5	0.3
10:00	200	828	1,028	2	19.5	0.2	392	919	1,311	3	29.9	0.2	592	1,747	2, 339	5	25. 3	0.2
11:00	656	589	1,245	3	52.7	0.2	178	960	1, 138	4	15.6	0.4	834	1,549	2, 383	7	35. 0	0.3
12:00	558	714	1,272	0	43.9	0.0	236	906	1, 142	2	20.7	0.2	794	1,620	2, 414	2	32. 9	0.1
13:00	213	864	1,077	3	19.8	0.3	204	852	1,056	0	19.3	0.0	417	1,716	2, 133	3	19. 5	0.1
14:00	516	636	1, 152	0	44.8	0.0	251	1,068	1,319	5	19.0	0.4	767	1,704	2, 471	5	31.0	0.2
15:00	463	786	1,249	1	37. 1	0.1	222	1,020	1,242	0	17.9	0.0	685	1,806	2, 491	1	27. 5	0.0
16:00	150	888	1,038	0	14. 5	0.0	192	1, 170	1,362	0	14.1	0.0	342	2,058	2,400	0	14. 3	0.0
17:00	192	1,260	1,452	0	13. 2	0.0	138	1,464	1,602	0	8.6	0.0	330	2,724	3,054	0	10.8	0.0
8:00~ 18:00	3, 763	8, 703	12, 466	16	30. 2	0.1	2, 170	9, 931	12, 101	17	17.9	0.1	5, 933	18, 634	24, 567	33	24. 2	0.1

交通量調査結果(泉大津基地) [平成29年8月分]

調査地点: No. B

調查日時:平成29年8月25日

調査日	時:平)	成29年	8月25日				助松JCT方面												
			泉北	方面					助松J	CT方面					合	計			
時刻	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	7	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	
	大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	and a second		大型車 類	小型車 類	灬	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	混入率(%)	輸送車 混入率 (%)	
08:00	169	192	361	1	46.8	0.3	200	654	854	2	23.4	0.2	369	846	1,215	3	30. 4	0.2	
09:00	266	180	446	2	59.6	0.4	282	264	546	0	51.6	0.0	548	444	992	2	55. 2	0.2	
10:00	271	138	409	1	66.3	0.2	288	132	420	0	68.6	0.0	559	270	829	1	67. 4	0.1	
11:00	279	78	357	3	78. 2	0.8	325	168	493	1	65.9	0.2	604	246	850	4	71. 1	0.5	
12:00	248	174	422	2	58.8	0.5	289	216	505	1	57.2	0.2	537	390	927	3	57. 9	0.3	
13:00	174	138	312	0	55.8	0.0	288	228	516	0	55.8	0.0	462	366	828	0	55.8	0.0	
14:00	258	210	468	0	55. 1	0.0	282	145	427	1	66.0	0.2	540	355	895	1	60.3	0.1	
15:00	224	180	404	2	55. 4	0.5	246	204	450	0	54.7	0.0	470	384	854	2	55. 0	0.2	
16:00	204	198	402	0	50.7	0.0	168	246	414	0	40.6	0.0	372	444	816	0	45. 6	0.0	
17:00	138	348	486	0	28.4	0.0	114	228	342	0	33.3	0.0	252	576	828	0	30. 4	0.0	
8:00~ 18:00	2, 231	1,836	4,067	11	54.9	0.3	2, 482	2, 485	4, 967	5	50.0	0.1	4,713	4, 321	9,034	16	52. 2	0.2	

交通量調査結果(泉大津基地) [平成29年8月分]

調査地点: No.C

調查日時:平成29年8月25日

		7	フェニッ	クス方	面				泉大	津方面					合	計		
時刻	3	を通量 ((台/時)		大型車	廃棄物	3	交通量	(台/時)		大型車	廃棄物	2	交通量((台/時)		大型車	廃棄物
	大型車 類	小型車 類	盐	廃棄物 輸送車	混入率(%)		大型車 類	小型車 類	盐	廃棄物 輸送車	八玉年 混入率 (%)		大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車	No. 1	輸送車 混入率 (%)
08:00	17	72	89	5	19. 1	5. 6	18	36	54	0	33.3	0.0	35	108	143	5	24. 5	3. 5
09:00	26	122	148	10	17.6	6.8	25	85	110	14	22.7	12. 7	51	207	258	24	19.8	9.3
10:00	54	68	122	8	44.3	6.6	64	45	109	7	58. 7	6. 4	118	113	231	15	51.1	6.5
11:00	30	72	102	6	29.4	5. 9	34	54	88	4	38.6	4.5	64	126	190	10	33. 7	5. 3
12:00	45	42	87	3	51.7	3. 4	61	72	133	1	45.9	0.8	106	114	220	4	48. 2	1.8
13:00	18	70	88	4	20.5	4.5	55	45	100	10	55.0	10.0	73	115	188	14	38. 8	7.4
14:00	19	38	57	9	33. 3	15.8	54	62	116	8	46.6	6.9	73	100	173	17	42. 2	9.8
15:00	60	63	123	9	48.8	7.3	46	100	146	8	31.5	5. 5	106	163	269	17	39. 4	6.3
16:00	25	12	37	1	67.6	2. 7	81	90	171	3	47.4	1.8	106	102	208	4	51.0	1.9
17:00	6	48	54	0	11.1	0.0	30	174	204	0	14.7	0.0	36	222	258	0	14. 0	0.0
8:00~ 18:00	300	607	907	55	33. 1	6. 1	468	763	1, 231	55	38.0	4.5	768	1,370	2, 138	110	35. 9	5. 1

悪臭調査結果(大阪基地)[平成29年8月分]

測定日:平成29年8月9日

					N1/C F	· /3/20 0/10 H
調査	人 項目	<u></u>	調:	査地点	No.5 (風上)	No.6 (風下)
		天		候	晴	晴
		気	温	(℃)	32.0	30.8
気	象	湿	度	(%)	58	63
		風	白	Ī	南南西	南
		風	速	(m/s)	1.3	0.6
	臭	気	強	度	0	0
	臭	気	指	数	<10	<10
	臭			質	無臭	無臭

悪臭調査結果(堺基地)[平成29年8月分]

測定日:平成29年8月10日

			例だり・丁	成23年0万 10 日
調査項目		調査地点	No.5 (風下)	No.6 (風上)
	天	候	晴	晴
	気	温 (℃)	34. 2	33. 2
気 象	湿	度 (%)	52	52
	風	向	西	西北西
	風	速 (m/s)	1.3	1.0
臭	気	強度	0	0
臭	気	指数	<10	<10
臭		質	無臭	無臭

悪臭調査結果(泉大津基地)[平成29年8月分]

測定日:平成29年8月10日

					0.47 = 1	/// (= 0 0/ 3 = 0 .
調査	人 項目	_	調	査地点	D1 (風上)	D2 (風下)
		天		候	晴	晴
		気	涯	l (℃)	34. 7	34. 4
気	象	湿	度	£ (%)	39	48
		風	É	ij	北西	西北西
		風	返	Ē (m/s)	1.7	2. 2
	臭	気	強	度	0	0
	臭	気	指	数	<10	<10
	臭			質	無臭	無臭